



礎石とみられる石
 礎石とは、建物の柱の基礎の部分です。これが礎石であるとしたら、発掘された深さが違うので、建物を何度も建て替えた可能性があります。今回の調査では詳細まではわかりませんでした。



炭・赤く焼けた土
 火災が起きたのかもしれない。



5 現地説明会
 発掘の結果を地域の人々に知ってもらうために説明会をひらきました。



4 全て掘り終わりました



6 発掘調査完了

土を埋め戻し、発掘調査が終わりました！

これからは土器を整理し、もっと細かく分析をします。遺跡は土の中に埋もれたままのタイムカプセルです。発掘調査を行うことで、昔の人々の生活や歴史が掘り起こされます。湯浅町には多くの遺跡がありますが、今後も調査を重ねていくことで、土の中からしかわからない町の歴史を解明することができます。

和歌山県埋蔵文化財発掘調査成果展 紀州のあゆみ

場所：和歌山県立紀伊風土記の丘

期間：6月1日～30日

今回発掘調査を行った湯浅城跡の遺物も展示されています。



発掘調査とは？

地面を掘り、土の下の様子や出てきた土器などを記録・保存する調査のことです。土を掘っていくことで、その土地がこれまででどういう使い方をされてきたか知ることができます。

土を見る



土の色や質を見て、昔の人々の生活の痕跡をみつけていきます。

土器を見る



昔の食器など、土の中から見つかった物の形や種類を見ていつの時代のものか考えます。

湯浅城跡で発掘調査を行いました。

1 土を掘る
 昔の生活の痕跡が見つかりました。ひとつずつ掘っていきます。



2 記録する
 写真・図面をとります



3 もっと下を掘る
 掘り進めるともうひとつ古い時代の土が出てきました。上とは様子が違うことがわかります。

見つかったもの
 (約600年前)



風炉 お茶の道具



鍛冶炉・鉄滓製鉄の痕跡



見つかったもの
 (約700年前)



東播系須恵器

神戸や明石のあたりで作られた土器です。